

事務事業名	7025 農政対策事業														
担当組織	環境経済部					経済戦略室					担当	労働農政担当			
組織コード	R7	15	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	06	01	01	01	01	記入日	令和 8年 2月13日	
	R6	15	01	00		R6	01	06	01	01	01	01			

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち							再掲施策	09	32	○ 対象		
施策	25	自然に親しむ空間の整備・推進											● 対象外	
事業期間	昭和50年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	農地関係事務処理要綱 戸田市農業研究会補助金交付要綱 土に親しむ広場の設置に関する要綱					関連計画 施政方針		戸田市経済戦略プラン						
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	市民、市内農家、市内農地所有者、土に親しむ広場利用者													
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 農地法に係る農地転用・権利取得による届出や調査等を行い、農地の適切な利用を進める。 農産物の栽培から収穫まで体験することを通じて、市民の都市型農業に対する理解を深める。 													
事業内容	農地転用の届出や受理済証明書の発行、農地利用状況調査等を実施する。農地を市が借り受けて、土に親しむ広場として整備し、利用希望者へ区画を貸し出す。農業体験や地元産の野菜等に触れる機会を提供する。姉妹都市交流事業として、市民を対象に美里町での収穫体験を実施する。													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力（農業研究会）													
行財政改革 の取り組み	取組名：農地台帳の電子化による業務の効率化													

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）	令和10年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	農地管理、土に親しむ広場管理・運営、収穫体験等	農地管理、土に親しむ広場管理・運営、収穫体験等	農地管理、土に親しむ広場管理・運営、収穫体験等	農地管理、土に親しむ広場管理・運営、収穫体験等	農地管理、土に親しむ広場管理・運営、収穫体験等	
	事業費	6,081	10,560	9,537	9,537	9,537	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	2,367	2,244	2,178	2,178	2,178
		一般財源	3,714	8,316	7,359	7,359	7,359
	人件費	10,531.62	11,495.4	11,495.4	11,495.4	11,495.4	
	投入 人員	常勤職員	1.62人	1.61人	1.61人	1.61人	1.61人
		非常勤職員	0.32人	0.27人	0.27人	0.27人	0.27人
事業費+人件費		16,613	22,055	21,032	21,032	21,032	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績	
目標達成状況	事務事業活動①	「土に親しむ広場」の快適な利用を目的とした除草等整備の実施	共有部の除草等整備の実施回数	回	12	12	12	12	12
	事務事業活動②	収穫祭の協力団体数	収穫祭への出店等に係る協力団体数	者	8	8	8	8	8
	事務事業活動③	姉妹都市交流事業美里町収穫体験の参加促進	姉妹都市交流事業美里町収穫体験の広報回数	回	2	2	2	2	2
	事務事業成果①	市民農園「土に親しむ広場」区画利用割合	年度末の段階で利用されている区画の割合	%	98	98	98	98	98
	事務事業成果②	収穫祭の参加者数	来場者延べ人数	人	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	事務事業成果③	姉妹都市交流事業美里町収穫体験参加者数	姉妹都市交流事業美里町収穫体験への参加者数	人	65	65	65	65	65
	目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 土に親しむ広場は、応募倍率が約2.8倍でキャンセル待ちが発生している状況であり、空きが生じた際は順次キャンセル待ちの方に声を掛けていくことで区画を有効に利用している。また、美里町での収穫体験は、目標どおり2回実施し、参加者数も目標値を上回ったことから、目標を達成することができた。一方で、収穫祭は廃止となったため、令和5年度と同様に実績なしとの結果となった。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 市民に対して土に親しむ機会を提供することができたため
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 農地所有者からの土地借用や姉妹都市との連携により、経費を低く抑えることができたため
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 業務委託や団体との連携など、取組に応じた手法で実施することができたため
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 取組に応じて利用者から費用を負担いただきながら実施することができたため

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	取組名：農地台帳の電子化による業務の効率化 時間削減効果：30時間（年間） 積算根拠：（運用後）500筆×1分（運用前）500筆×5分
令和7年度に実施する取組内容	農地事務における農地台帳や農地転用事務、52条調査（8・1調査）について、他自治体の状況を調査するとともに、事務内容を見直す。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input checked="" type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 土に親しむ広場や姉妹都市での収穫体験など、引き続き市民が土に触れる機会を創出し、市民の都市型農業への関心が高まるよう取り組んでいく。一方で、収穫祭の廃止や農業研究会の規模縮小、土に親しむ広場の数が減少していくなど、外部要因から市内での農地利用は減少傾向にある。経済戦略室では、基本目標7「活力にあふれ人が集い 心ふれあうまち」に対する施策が中心であり、第1次産業を含めた総合的な産業支援を担当していることから、基本目標や施策が異なる本事業が室内の例外的な事務となっており、事務移管等も含めてあり方を検討していく。

事務事業名	40486 緑化事務費													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R7	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	08	04	07	01	01	記入日	令和 7年 6月16日
	R6	15	06	00		R6	01	08	04	07	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補				
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち							再掲施策				○ 対象		
施策	25	自然に親しむ空間の整備・推進											● 対象外		
事業期間															
根拠法令 通達等								関連計画 施政方針							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの														
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：														
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：														
対象															
事業目的	予算管理シート														
事業内容	予算管理シート														
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()														
行財政改革 の取り組み															

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容						
	事業費	9,890	11,138	8,529	8,529	8,529	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,890	11,138	8,529	8,529	8,529
	人件費	3,835.59	4,212.6	4,212.6	4,212.6	4,212.6	
	投入 人員	常勤職員	0.59人	0.59人	0.59人	0.59人	0.59人
		非常勤職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
事業費+人件費		13,726	15,351	12,742	12,742	12,742	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況								
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	- : 未設定
	-	-	-	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	- : 未設定
	-	-	-	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	- : 未設定
	-	-	-	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	- : 未設定
	-	-	-	<判断理由>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和6年度に実施した取組内容・効果	
令和7年度に実施する取組内容	

6. 令和8年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 事務に必要な事業であるため、現状で継続していく。

事務事業名	7585 緑化推進事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R7	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	08	04	07	01	02	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	15	06	00		R6	01	08	04	07	01	02		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち								再掲施策				○ 対象
施策	25	自然に親しむ空間の整備・推進												● 対象外
事業期間	昭和54年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	戸田市緑化推進条例、緑化推進に関する規則 戸田市緑化推進補助金交付規程 戸田市建築物屋上等緑化奨励補助金交付要綱 戸田市生け垣等設置奨励補助金交付要綱					関連計画 施政方針		戸田市緑の基本計画 市長公約62「市の鳥」制定や新たな里地保全の推進 による生物多様性確保の推進						
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	戸田市で保存樹木を所有している者、生け垣・屋上緑化等を設置する者。													
事業目的	良好な自然と生活環境を確保するため、樹木の保全とあわせて緑化を推進し、緑あふれる住み良いまちづくりを図る。													
事業内容	苗木の配布や緑化に関する補助金の交付を実施するほか、緑化を推進する計画の策定や遂行を図る。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3ㄗ・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布、里 地保全推進	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布、里 地保全推進	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布、里 地保全推進	緑化補助金の 交付、苗木の 無料配布、里 地保全推進	
	事業費	4,830	21,469	7,334	7,334	7,334	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	482	548	548	548	548
	一般財源	4,348	20,921	6,786	6,786	6,786	
	人件費	7,346.13	8,068.2	8,068.2	8,068.2	8,068.2	
	投入 人員	常勤職員	1.13人	1.13人	1.13人	1.13人	1.13人
		非常勤職員	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
事業費+人件費		12,176	29,537	15,402	15,402	15,402	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績	
目標達成状況	事務事業活動①	緑化推進のための補助金制度の広報回数	補助金制度の広報回数(広報、インターネット、チラシ等)	回	3	3	3	3	3
	事務事業活動②	緑化事業「とだグリーンウェイブ」の広報回数	広報、インターネット、チラシ等	回	3	3	3	3	3
	事務事業成果①	緑化推進のための補助金申請件数(生け垣、屋上緑化、駐車場緑化)	補助金の申請があった件数	件	4	4	4	4	4
	事務事業成果②	「とだグリーンウェイブ」の植樹本数	苗木を無料配布する事業において植樹した本数	本	91	91	91	91	91
					6	6	6	6	—
					1	0	1	0	—
目標達成状況の分析	<p>B：いずれかの目標を達成した。</p> <p><判断理由> 補助金制度を「広報とだ」、「ホームページ」へ掲載すると共に、「チラシ」を窓口に常備することにより周知啓発を行ったが、目標には至らなかった。また、「とだグリーンウェイブ」の広報活動については目標を達成したが、その成果としての植樹本数については、昨年度から増加したものの達成しなかった。新たに設置できる環境が減少しているが、より利用しやすい制度に変更するなど工夫しながら、緑化意識の向上と共に、制度の活用に繋げていく。</p>								

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	<p>B：施策の目標達成に貢献している。</p> <p><判断理由> 市街化が進み新たな緑地を確保しにくい状況下においては、生け垣や樹林等を保存し緑の減少を防ぐことや、緑化の普及啓発を図る取り組みは都市部での緑化に貢献している。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	<p>B：経費は適正な範囲である。</p> <p><判断理由> 生け垣や屋上緑化には多額の費用がかかるため、経費は適正な範囲である。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	<p>B：事業手法は適正な内容である。</p> <p><判断理由> 補助事業は適正であるが、更なる利用促進に向けて、制度の周知方法や補助の方法を工夫する必要がある。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	<p>B：受益・負担は適正な範囲である。</p> <p><判断理由> 適正に保全された緑は広く市民に貢献するものであるため適正な範囲である。</p>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	補助金制度の統合や周知の方法を検討したが、効果的な手法による改訂は難しい。他自治体においても同様に利用実績に伸び悩んでいるため、工夫している事例等を参考にしていく。
令和7年度に実施する取組内容	とだグリーンウェイブ事業について、植栽のしやすい時期に配布事業を実施するように一部制度を変更し、イベント等において積極的に周知することで、利用者の増加を目指す。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<p><方向性の判断理由・取組方針> 緑の保全、創出には市民の理解が不可欠であり、補助金制度や「とだグリーンウェイブ」などの緑化事業のほか、生物多様性と緑のもたらす良い効果などをホームページ等で広く市民に周知し、制度の活用や緑化推進機運の醸成を図っていく。 また、(仮称)里地公園の運用の検討を進め、既存事業の新たな発信拠点にするなど、自然環境に親しむことができる環境づくりを進めていく。</p>

事務事業名	27263 水と緑のネットワーク推進事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	緑化推進担当		
組織コード	R7	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	08	04	07	01	03	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	15	06	00		R6	01	08	04	07	01	03		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち										再掲施策			● 対象
施策	25	自然に親しむ空間の整備・推進													○ 対象外
事業期間	平成19年度～令和12年度														
根拠法令 通達等	環境共生・創造マスタープラン					関連計画 施政方針		戸田市環境基本計画、戸田市緑の基本計画、水と緑のネットワーク形成プロジェクト(戸田市地区)基本構想、戸田ヶ原自然再生事業全体構想 市長公約63							
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの														
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号：														
総合戦略	■ 施策番号：1-2														
対象	市民、事業者														
事業目的	自然と共生するまちづくりを市民など多様な主体とともに推進することを目的とする。														
事業内容	戸田ヶ原自然再生等事業を中心に市民や関係団体等と連携し、水と緑のネットワーク形成プロジェクトの一環として、市内緑化を推進する。														
実施主体	■ 市による単独直営 ■ 委託 (■ 3セク・財団 ■ 企業 □ 市民・NPO) ■ 協働・協力 (企業市民NPO)														
行財政改革 の取り組み															

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	戸田ヶ原自然再生、水と緑のネットワーク形成	
	事業費	2,531	3,135	4,756	3,139	3,139	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	169	169	169	169	169
		一般財源	2,362	2,966	4,587	2,970	2,970
	人件費	5,070.78	5,569.2	5,569.2	5,569.2	5,569.2	
	投入 人員	常勤職員	0.78人	0.78人	0.78人	0.78人	0.78人
		非常勤職員	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
事業費+人件費		7,602	8,704	10,325	8,708	8,708	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	戸田ヶ原自然再生地におけるサクラソウ植え付け株数	株	500	500	500	500	500
	事務事業活動②	戸田ヶ原自然再生事業のイベントの開催件数	件	3	3	3	3	3
	事務事業成果①	戸田ヶ原自然再生地におけるサクラソウ植え付けの株数	株	9,700	10,200	10,700	11,200	11,700
	事務事業成果②	戸田ヶ原イベント開催参加者人数	人	700	700	700	700	700
	総合戦略KPI①	戸田ヶ原イベント開催参加者人数	人	700	700	700	700	700
				559	1,009	585	1,138	—
				559	1,009	585	1,138	—
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 戸田ヶ原自然再生地における、サクラソウの管理について、予定通り実施することができ、目標を達成することができた。また、さくらそう祭り、サクラソウ植え付けなどのイベントも予定どおり開催することができ、目標を達成することができた。参加人数は、さくらそう祭りへの参加者が大きく増加したためだが、各イベントも引き続き参加者の増加を目指していく。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 水と緑のネットワーク形成プロジェクトの一環として、戸田ヶ原自然再生事業等を市民ボランティア、関連団体と連携・推進することで、自然と共生するまちづくりに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 既存事業の活用や市民ボランティア、事業者と協働することにより、限られた予算の範囲内で成果をだしており適正である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 水と緑のネットワーク形成プロジェクト（戸田市地区）行動計画や戸田ヶ原自然再生事業実施計画をもとに、市民や事業者と協働しながら進めており、事業手法は効率的、効果的である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 自然と共生するまちづくりは広く市民の利益に資するものであり、受益・負担は適正な範囲である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和6年度に実施した取組内容・効果	市民等がサクラソウに親しむ機会を増やすため、引き続き、サクラソウ苗の配付対象に保育園を追加した。また、開花時期以外の普及啓発等を行う「サクラソウプロジェクト」を推進していくため、パンフレットを作成し、より興味を持ってもらえるよう情報発信に努めた。 戸田ヶ原自然再生事業については、戸田市商工会報など事業者向けにも企業ボランティア募集の周知を行った。
令和7年度に実施する取組内容	市民等がサクラソウに親しむ機会を増やすため、サクラソウ苗の配付対象箇所を拡大し、より身近に感じることができるよう普及啓発を行う。また、自然再生キャラクターなどのグッズも併せて活用し、更なる啓発に努める。 戸田ヶ原自然再生事業については、戸田市商工会報など事業者向けにも企業ボランティア募集の周知を行いながら、県の取組とも連携し、引き続き新たな担い手を発掘し体制強化を図っていく。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 自然に親しみ、花と緑を守り育てる空間の整備・推進のため、自然の働きによるグリーンインフラを効果的に活用できる新たな仕組みづくりや市民がサクラソウに親しむ機会を増やしていく「サクラソウプロジェクト」を推進していく。 また、戸田ヶ原自然再生事業については、市民ボランティアや事業者との協働による取組が着実に進んでいる。さらに新たな担い手の発掘など、取組体制を強化するべく、企業ボランティアの募集にも力を入れ、水と緑のネットワーク形成を推進していくこととし、現状で継続していく。